

他自治体の環境会議

自治体	名称	参加者数、構成等	任期（開催期間）及び会議回数	会議の進め方や特徴
札幌市	気候市民会議さっぽろ	20名 無作為抽出した16歳以上の市民3000人に案内状を送付し、応募者の中から年代・性別などの構成が札幌市全体の縮図となるよう、10～70代の20人（男性12人、女性8人）を選出。	令和2年11月～12月に4回 （各回4時間）	3つの論点を設定し、①参考人レクチャーと質疑応答による情報提供の後で、②参加者が4人ひと組のグループに分かれて議論を行い、最後に③投票（選択＋記述式）を行う。
松江市	まつえ環境市民会議	個人会員：270名 団体会員：49団体 法人会員：105法人人 入会申込制 年会費あり（会員 1口 1,000円、団体会員 1口 2,000円、法人会員 1口 3,000円）	会員制	定期総会、環境フェスティバル参加、環境保全活動、環境啓発活動、清掃活動、環境講演会・学習会・講習会・視察研修会などの実施 市民、事業者、行政が協力して身近な環境活動を実践する市民組織
武蔵野市	武蔵野市気候市民会議	68名 ① 無作為抽出枠 41名 満 16 歳以上の市民 1,500 人を無作為に抽出し案内を郵送し参加希望 ② 公募枠 27名	令和4年8月から11月に5回 （各回2時間）	毎回、テーマに応じて気候変動の現状に詳しい専門家によるレクチャーをした後にグループ討論を行う。 アドバイザー、グループ討論支援事業者あり
品川区	品川区環境活動推進会議	35人程度 公募区民 23人程度（大学生・高校生を含む） そのほか学識経験者、品川区立中学校長、品川区立小学校長、品川区町会自治会連合会、東京商工会議所品川支部、品川区商店街連合会、品川区立中学校PTA連合会、品川区立小学校PTA連合会、東京都助産師会品川港地区分会、東京電力パワーグリッド株式会社品川支社、東京ガスネットワーク株式会社、品川区リサイクル事業協同組合カムズで構成	任期2年（委嘱あり） 年4回（任期中8回）	第1回会議にて主要検討テーマを決定し、テーマに応じて講義、グループワーク、ワークショップ等を行う。 品川区環境基本計画への意見募集も行う。 墨田区同様に委嘱された委員で構成し、公募区民だけでなく、多種多様な団体で構成 委員への報酬あり （座長：15,000円/回、副座長：10,000円/回、その他委員：5,000円/回）
杉並区	杉並区気候区民会議	70名～80名程度 無作為抽出により、16歳以上の方5,000名に募集案内を送付し、参加希望者の中で、年齢層、性別、住所のバランスを考慮して抽選を行い決定。	令和6年3月～8月に各回3時間程度を6回	気候変動対策に関するさまざまなテーマごとに、有識者から情報提供を行う。グループに分かれ、参加者同士が自由な意見で議論する。グループで議論をまとめ、全体に内容を共有する。 会議で出た意見提案を区の施策に生かしていく。
江戸川区	えどがわ気候変動ミーティング（区民会議）	14名 無作為抽出した1,500名の区民に案内を送付し、その中から希望のあった14名	令和4年8月～11月に4回 （各回3時間程度）	気候変動の現状に詳しい講師によるレクチャーを行った上で、4～5人のグループに分かれてグループ討論を行う。その後、各グループの発表と全体討論、ふりかえりを行う。 検討結果を区の気候変動適応計画に盛り込む 参加者への報酬あり（3,000円/回）